

平成30年度決算

5 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 棚卸資産の評価基準及び評価方法

(ア) 事業用資産

個別法による原価法によっている。

イ 固定資産の減価償却の方法

(ア) 建物, 建物付属設備

定額法によっている。

(イ) 什器備品

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法, 平成19年4月1日以降に取得したものについては定額法によっている。

(ウ) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし, 残存価格を零とする定額法によっている。

ウ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は, 税込方式によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は, 次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|-------------|-------------|-----------|------------|-------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 200,000,000 | 0 | 0 | 200,000,000 |
| 小 計 | 200,000,000 | 0 | 0 | 200,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 消費税納税準備積立預金 | 66,324,340 | 2,372,725 | 68,697,065 | 0 |
| 小 計 | 66,324,340 | 2,372,725 | 68,697,065 | 0 |
| 合 計 | 266,324,340 | 2,372,725 | 68,697,065 | 200,000,000 |

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は, 次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財 産からの充当額) | (うち一般正味財 産からの充当額) | (うち負債に 対応する額) |
|-------------|-------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 200,000,000 | (200,000,000) | (0) | — |
| 小 計 | 200,000,000 | (200,000,000) | (0) | — |
| 特定資産 | | | | |
| 消費税納税準備積立預金 | 0 | (0) | (0) | (0) |
| 小 計 | 0 | (0) | (0) | (0) |
| 合 計 | 200,000,000 | (200,000,000) | (0) | (0) |